

初の公立高校だけの全道大会開催 全道各地から16チーム参加

有 珠山噴火5年復興記念「公立高等学校バレーボール大会 in 虻田」が、9月18、19日、虻田高校体育館を主会場に開催されました。

毎年8月に開催されていたバレーボールの国体道予選が今年から中止となり、3年生の引退が6月に早まったため、虻田高校バレー部の八田正人監督が道内各公立高校に呼びかけ、公立高校の全道大会が実現しました。

大会には、今年の全道高体連大会準優勝の帯広南商業や3位の妹背牛商業などの強豪も含

めて16校が参加し、熱戦を繰り広げました。結果は、地元虻田高校が妹背牛商業を破り優勝を勝ち取りました。



熱戦をくりひろげたバレーボール大会

老人クラブ「社会奉仕」の日に町内清掃

全 国の老人クラブで設定された「社会奉仕の日」の9月20日、虻田町内でも各区の老人クラブが清掃活動に汗を流しました。

6区老人クラブ「寿会」（小西利義会長）では、毎年空缶拾いをしてきましたが、今年は、6区の集会所が増改築されたのを機に、その周りの清掃をしようということになり、朝7時から14人が参加して、枝のかたづけ、石の除去など二時間ほど行いました。

小西会長は「建物も周りもき



清掃を終えて記念撮影

れいになってよかった。これからも清掃活動を続けたい」と活動の継続を誓っていました。

○まぢのわたい○

全国出場を決めた虻中生 役場を訪問

9 月21日、虻田中学校の松田佳純さん（同2年・バドミントン）と片岸泉紀さん（同1年・水泳）が全国大会出場の挨拶ため役場を訪問しました。



役場を訪問した松田さんと片岸さん

松田さんは「なんと1勝は

したい」、片岸さんは「優勝めざしてがんばりたい」とそれぞれ抱負をのべ、長崎町長は「体に気をつけて、良い成績を」と二人を激励しました。

片岸さんは、9月24日、25日京都市で開催された第26回JSCAプロック対抗水泳競技大会に出場し、50mバタフライでは惜しくも予選敗退しましたが、リレーでは5位に入賞しました。松田さんは、10月7日から10日まで、徳島市で開催される第24回全日本ジュニアバドミントン選手権大会に出場します。

秋の夜長左党が集合

9 月23日、虻田料飲店組合と虻田商工会などで行う実行委員会が主催して、「第2回あぶたドリンクラリー」が開催されました。



景品があたって大喜びの参加者

参加者は、午後6時のスタートの合図とともに、5軒の店の名前が書かれているチケットを手にしふれ合いセンターを出発。90分以内でその5店舗を回ってスタンプを押してもらい、再度スタートの会場に戻るといふ過酷なルールに挑みました。午後8時からは、このルールをクリアした人のみが参加できる、液晶テレビやDVDなどが当たる豪華景品抽選会が始まり、当選番号が呼び上げられるたびに、会場から一喜一憂した声が飛び交っていました。